

名古屋市SDGs未来都市計画の改定について

〈資料1-1〉

1 SDGs未来都市の概要

- (1) 政府は、平成28年5月にSDGs推進本部（本部長：内閣総理大臣、構成員：全閣僚）を設置し、実施指針やアクションプランを策定するなど国を挙げて推進
- (2) アクションプランにおいて、「SDGsを原動力とした地方創生」を掲げ、平成30年より、**SDGsの達成に向けた優れた取組を提案する地方自治体を「SDGs未来都市」として選定**する事業を開始（毎年約30都市、令和3年現在124都市）
- (3) SDGs未来都市に選定された地方自治体は、**3か年のSDGs未来都市計画**を策定し、その達成に向けた取組を積極的に実施（進捗評価を毎年実施し、内閣府に報告）

2 本市の状況

- ・令和元（2019）年7月にSDGs未来都市に選定される
- ・名古屋市まち・ひと・しごと創生・SDGs推進本部会議を経て、同年10月に、**名古屋市総合計画2023の内容を踏まえた名古屋市SDGs未来都市計画を策定**
- ・現在の計画期間（2019-2021年）が本年度までで終了
➡ **国の通知に従い、現計画を改定（次期計画期間：2022-2024年）**

【名古屋市SDGs未来都市計画（令和元年10月策定）の概要】

名古屋市総合計画2023に掲げた**令和12（2030）年のあるべき姿をめざし、長期的な展望に立ったまちづくり**を強力に推進することで、**経済・社会・環境が調和した誰一人取り残さない持続可能なまち**を実現する。

【経済】イノベーション戦略の推進

- ➡ イノベーション創出の促進やスタートアップの支援、MICEの推進など、新たな価値の創出

【社会】都市機能強化戦略の推進

- ➡ 最先端モビリティ都市の実現に向けた取組やリニア中央新幹線開業に向けた名古屋駅周辺のまちづくりなど、大交流を支える都市機能の強化

【環境】環境都市推進戦略の推進

- ➡ 低炭素なライフスタイル・ビジネススタイルへの転換の促進、緑に親しめる環境づくりや生物多様性の保全など、環境都市の推進

3 改定のポイント

内閣府から示された策定要領等を踏まえ、現計画の記載内容を加除修正

【第2期計画策定要領】

- ・令和4年度から令和6年度までの**3カ年計画**とすること
- ・現計画の内容を踏まえた**継続性のある計画**とすること
- ・構成、見出し等は所定のフォーマットに従うこと、**全体的にスリム化**すること など

【主な改定内容】

①現在の計画策定後の社会的潮流等を反映

- ・国の脱炭素化に向けた動きやDXの推進などについて記載
- ・各局個別計画の内容を反映（第4次環境基本計画や産業振興ビジョン2028など）

②新型コロナウイルス感染症に伴う課題等を追記

③KPI等の時点修正等

- ・事業が終了した取組、指標を別のものに変更（3項目）
- ・現状値及び目標値の時点更新（原則、現状値2018→2020、目標値2021→2024）
※ 一部指標においては、現状値とともに、コロナ禍以前の数値を補記

4 スケジュール

月	内 容
8月	・名古屋市まち・ひと・しごと創生・SDGs推進本部幹事会での各局意見照会（8/20）
9月	・内閣府から通知「第2期SDGs未来都市計画の策定について」（9/13） ・各局との調整、素案策定（～12月）
12月	・名古屋市まち・ひと・しごと創生・SDGs推進本部幹事会（12/13） ・ 名古屋市まち・ひと・しごと創生・SDGs推進本部会議（12/20） ➡ 内閣府へ素案提出
1月 (予定)	・素案に対する内閣府からの意見付与（1月初旬～中旬） ➡ 素案修正（～3月） ・名古屋市まち・ひと・しごと創生・SDGs推進会議委員意見聴取（～2月）
2月 (予定)	・計画修正案について内閣府との調整 ・ 名古屋市まち・ひと・しごと創生・SDGs推進本部会議（2月下旬を目途）
3月 (予定)	・ 策定、公表